第2回安曇野市水道事業審議会 会議概要

1	審議会名	第2回安曇野市水道事業運営審議会
2	日 時	平成19年11月26日 午後2時00分から午後3時46分まで
3	会 場	豊科総合支所 上下水道棟2階会議室
4	出席者	平林委員、加々美委員、中島委員、塚田委員、磯野委員、松村委員、
務台委員、矢ヶ崎委員、窪田委員、山崎委員
5	出席者	市側 太田部長、大澤課長、小松課長、中野副参事、
齋藤係長、小穴係長、水谷係長 事務局古畑
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 2人
8	会議概要作成年月日	平成19年12月3日

協 議 事 項 等

1 会議概要

- (1) 開 会 (大澤業務課長)
- (2) 会長あいさつ
- (3) 議 事
 - ① 豊科事業におけるエプソンの動向について
 - ② 豊科事業の料金改定について
 - ③ 堀金事業の料金改定について
- (4) その他 施設見学について
- (5) 閉 会

議事①豊科事業におけるエプソンの動向について、及び議事②豊科事業の料金改定について

事務局 11月22日、エプソン関係者3名が来庁し現在の液晶ラインの稼働を終結する旨説明を受けた。それによると、現在2ライン稼働で日量約2,000立方メートルの水道を使用しているが、来年4月に一つのラインが停止し、一日の水道使用量は500～1,000立方メートルに減少してしまう見込みとのこと。

また、来年9月以降は液晶ライン全てを閉じるとともに、その後の工場使用方針等は現在未定であり、来年6月頃には明らかにしたいとのこと。

これにより、来年9月以降は一日約200立方メートルの生活用水だけとなり、クリーンルームを維持することになれば一日約1,000立方メートルとなる見込みで、いずれにしても現在の使用量と比較すると20年度は3分の1、21年度以降は殆ど使用水量が見込めない状況だ。

エプソンからの水道料金は17年度に1億3千万円程度であったが以後減少し、本年度は1億円を若干越える収入であり、20年度は3分の1に激減する事で3,600万円程度となる。

また、21年度からは当年度損益が約4千万円を超える赤字となってしまう。

以上、エプソンの動向と豊科地区の影響について説明。

会 長 なにか質問は。

委 員 来年6月頃に9月以降の製造に関わる結論が出るとの事であるが、その頃まで様子を見る方法もあると思う。その結論により従来どおり水を使用する可能性もまだ残されている為、現在は審議する段階ではないと思う。

事務局 エプソンで一番水を使用するのは液晶のラインであるが、液晶ライン撤去は確実であり

使用水量の大幅な減少は事実になる。企業秘密に属する部分であるかと思うが、工場を閉鎖する面も含め現段階で未定との説明を受けた。

委員 それなら審議はこの段階で行ったほうが良い。

委員 エプソンでの使用水量は大幅に減少し、これ以上増える要素はないから値上げはやむを得ないが段階的に値上げしたほうが良いと考える。

委員 いずれにしてもエプソンの関係で豊科の値上げはやむを得ない状況だ。

しかし、豊科だけの問題として考えるのではなく、将来料金を統一する方向の中で考えるべきだ。料金統一の目標時期がないと各地区から問題が発生した場合その都度対応する事になるが、料金統一の作業と平行するほうが好ましい。

会長 はっきりしない部分はあるが値上げの方針で良いか。値上額を事務局にてシミュレーションし次回検討したいと思う。

事務局 豊科の 20 年度損益は料金改定しなくても収支はプラス・マイナスゼロに近い状況の為 20 年度は料金改定無しでも良いか、20 年度当初からの改定か、20 年度後期からの改定などの面も踏まえて審議を頂きたい。

委員 豊科は過去 3 年毎に改定してきたが、3 年後の 20 年度に拘らず 21 年度に改定すると判断しても良いのか。

事務局 そのような選択もできる。

委員 豊科はエプソンに大きく料金収入を依存した不安定な状況であった。そのエプソンのおかげで豊科住民は恩恵を受けていた面があるが、このような情勢により今後各企業の見通しが不透明なため一旦値上げし、更に来年 8 月以降の水量が予定より多く推移した場合剰余金として蓄えておけば全市的に見直す時に良い方向に作用すると思う。

会長 ほかに質問はあるか。(質問なし) それでは次の議事へ移る。

議事③ 堀金事業の料金改定について

事務局 前回の審議会で示したシミュレーションを基に詰めの審議を願いたい。

会長 堀金の料金改定について、前回の結論からすれば値上げせざるを得ないと言う意見であったが、質問はないか。

委員 堀金に関しては前回のシミュレーションとおおり問題ない。一般家庭の増加率の平均が約 5 パーセント程度であれば抵抗は少ない筈だ。(同様回答多数)

会長 堀金水道も含め水道事業全体で何か質問はないか。

委員 水道料金は将来統合するとの事であるが、その時期をいつ頃と見込んでいるか。

事務局 合併協議会で議論したなかで、旧豊科で合併した際水道料金の統合は合併後 10 年を要している例もある。住民感情が馴染むとともに料金も馴染んでいくような方向しか考えられない。いずれにしても簡単な作業ではないと考えている。最低でも 10 年は要すると感じている。

会長 今現在統合した場合、料金はどの様になるのか。

事務局 現状の平均は 2 ヶ月で 3,200 円だ。3,200 円に設定し統合した場合、豊科・三郷の値上げ幅が相当大きい。経営努力して 3,000 円に限りなく近づけたいと考えている。

また国の政策で企業債の高金利物件を繰上償還・借換えができる制度が定められた。国の予算枠の都合で高金利の物件の全てが対象となるか否かは現段階で不明であるが、仮に全て繰上償還・借換えできた場合 5 千万以上の効果は見込める。その効果を加味したら 2 ヶ月 3,000 円は不可能ではないと考えているが、それについてはしばらく様子を見たい。

更に、水道事業計画として水道ビジョンを策定する業務も進めている。その水道ビジョンが

例えば統合の目標時期を示す事が出来るのではと考えている。

委員 今までの審議会で、去年の穂高の問題と、今年はエプソンと堀金の問題について審議しているが、他にどのような問題があるのか。

事務局 旧町村時代から抱えているいくつかの問題がある。

三郷では水源問題があり、現在豊科との水源統合で検討している。

穂高は第五次拡張事業の巨大投資問題の他、有明地区で水道管布設替を施していない区画が多く残されており、温泉の配管もある都合上簡単に作業が出来ない区域がある。その区域の配水管布設替をどの程度の規模で行うか大きな問題だ。本来、穂高はそのような問題もある関係で更に値上げしないと厳しい状況でもある。しかし、現在の予算規模では今の説明した箇所の布設替は出来ない状況であり、様子を見ながら展開していくしかないと考えている。

堀金はほりで一ゆーに向かう道に配水管布設の問題がある。

明科は本管が山間地・民地に配管されている箇所がある為その更新に係る問題など、大小含め他に問題を挙げたらきりが無い状態だ。

委員 地区毎に様々な問題が出てきてしまい、結局事業単位で問題を解決する事になるが、市長が言っていた「5つの流れをひとつの流れに」と言われる言葉にとっても深い意味があると思う。皆で助け合っていこうという意味でもあると思う。

事業・料金を統合する目標時期が明確でなければ、新しい問題にほんろうされてしまい統合が難しくなってしまう。

また、現行料金を各地区で平均すると3,200円とのことであるが、企業努力で3,000円に近い数値にしたいと説明したが、それは現実的であるか。

事務局 それについては、私共も経営努力しながらその料金水準に近づけるようにしたいと考えている。

委員 努力をしても、何れは他に投資しないといけないケースが出てくると思う。

事務局 投資した場合、資材は改良されてきており耐用年数が長くなってきている為、投資効果は高い。

委員 それだったら何年後に統合するとか設定しやすいと思う。その設定も経営努力になると思う。

事務局 それは承知しているが、今現在住民の感情面で妥協して頂ける状況でないとと思われる。

結局は料金が上がる地区と下がる地区がある関係、上がる地区は下がる地区の負担をする事になる。その感情面も踏まえ事務局では現在提案できる時期ではないと考えている。

委員 各地区で発生する問題に対しそれぞれ対処しなければならないことは承知しているが、問題を個別に解決していたら結局はたちごっこになる。各地区の問題を解決しながら統合の目標年度に向けてそちらも平行して作業を進めていったら良いと考える。

事務局 今の状況は、住民同士不足する部分を歩み寄ってカバー出来るような風土になっていないと思われる。

維持業務・設備投資等を計画的に適正な範囲で、一定の上限を設定し価格を抑えながら経営を行う事は現段階でも出来るが、住民感情の面は市全体の問題としても非常に難しい事だと思う。

また、現在水道ビジョン策定作業に着手しており、来年の9月に完成する予定だ。その計画が今後の水道事業の基本になるため、その計画が策定されない限り具体的な計画を挙げる事が出来ない状況でもある。

会長 以前3年から5年に料金を見直す事が一般的だと説明を受けたが、統合時期の目標を設定しないと他の問題で統合が先送りになってしまう。料金改定算定期間の最大値である5年後に事業・料金を統合するなど方向性を明確にしたほうが良いと思う。審議委員会の要望とし5年後

に統合を望むと言う意見で如何か。

各委員 会長の意見に同意の姿勢を示す。

会 長 堀金の値上げについて意見は。

委 員 シミュレーションで示された数値であれば問題ないと思う（多数同意あり）。

委 員 以前、堀金は7立方以内に納まる家庭が非常に多く、当時議会で7立方メートルの基本水量で運営したほうが良いとされた為その様に運営してきた。

平成9年度に消費税率改定に併せ、料金改定をした頃から近隣町村に合わせ基本水量を10立方メートルにすれば良いとの声も出はじめていた。今回の審議によって仮に値上げされたとしても、住民には理解して頂き易いと感じている。

また、前回の審議会で説明されたほりで一ゆーへの本管布設については早急に着手しないとイケない状況か。

事務局 合併前の認可上の計画でそのようにされている都合上早い段階で着手したい。

委 員 その地区は昔から消火栓を設置されていない事が課題であった。いずれにしても効率的に布設してもらうように願いたい。

事務局 堀金の料金改定時期は平成21年度か、それよりも前にするか。例えば今から最短の改定だと3月議会へ議案提出し、市民への周知期間を設ける都合、平成20年夏以降の料金改定になる。

委 員 その時期が好ましいと思う。

会 長 それでは事務局が提案したとおり、堀金地区の料金改定については3月議会へ議案提出し議決されたら住民への周知期間を設け、来年の夏頃に料金改定をする方針で良いか。

各委員 同意の姿勢を示す。

会 長 それでは④その他について。

議事④その他について。

_____施設見学会・次回審議委員会開催について打ち合わせ_____

平成19年12月5日に市内上水道施設見学会を開催し、その日に次回審議会開催日を決定する事とし閉会した。

閉会時間 15時46分